

## Op./古典的ケース

私たちの家でちょっとしたレメディ X の物語があった。

大筋は次の通り：猫が発情し、不妊手術を受け、麻酔からさめなかった。

恐ろしい！

猫はひどくぼうっとして、よろめいており、膀胱のコントロールが効かなかった。

私は猫にレメディ X 200C を与え、猫は 25 分後に元気になった。

数日後、猫はまだ感覚が鈍い感じで、宙をじっと見つめており、下痢をし、緊張すると便や尿を漏らす。

翌日、再縫合するために鎮静剤を飲まなければならない時、猫は何の問題もなく麻酔から覚めたのである。

私たちは、レメディ X をありがたく思った。